

いちご栽培管理 (H29.12.)

(有) 丸 富

11月上旬は比較的安定した天候に恵まれ、ハウス内は高温傾向だった。定植後の日照不足等によりやや生育が遅れた。そうしん株や多芽が一部であった。ダニやスリップスが確認されたが、病害虫の発生は少なかった。

着色促進

光合成を促進し、着色を促進して、着果負担を軽減する。

着色促進に**笑顔 1,000 倍**(又は**天地の恵み 500 倍**)と**サンネーラ 10,000 倍**を数回、葉面散布する。

三番花房の細胞分裂促進

三番花房の花芽分化は着果負担が大きく、エネルギーを多く必要とするので、養分補給を行う。特に近日点で生殖生長傾向だから、樹勢維持を心がけ、早めに対策を図る。

花芽分化前に**笑顔 1,000 倍**(又は**天地の恵み 500 倍**)と**サンネーラ 10,000 倍**を数回、葉面散布する。

花芽分化後に**バイオシャイングリーン 3 kg/10a**(又は**天地の恵み 1 kg**)と**サンネーラ 50g/10a**を灌水する。

発根促進と酸素供給に**G バランス DF 1 kg/10a**と**発根力 1 kg/10a**を1ヶ月に1回灌水する。

肥大促進

近日点で連続して花芽分化すると、樹勢が低下しやすい。光合成能力が高い葉を作り、転流を促す。

果実の肥大促進に**K-40 1,000 倍**と**サンネーラ 10,000 倍**を適宜散布する。

灌水による肥大促進に**K-40 250g/10a**と**サンネーラ 50g/10a**を1ヶ月に2回灌水する。

病害対策

新月頃に軟弱徒長すると、ウドンコ病などの繁殖が盛んになる。徒長する時は電照を少し短縮する。

果実促進に**時を越えた贈り物 1,000 倍**(又は**K-40 1,000倍**)と**スーパーカル 1,000 倍**を葉面散布する。

害虫対策

満月頃は害虫の活動が盛んになるから、害虫の動向を観察して、事前対応で予防する。

害虫対策に**時を越えた贈り物 1,000 倍**と**バイオアクト TS 2,000 倍**を散布又は防除時に適宜混用する。

日頃から**時を越えた贈り物 200 cc/10a**と**バイオアクト TS 50~70 cc/10a**を5~7日毎に灌水する。

追肥(液肥)

生育状況、土質、天候によって施用量が異なる。観察して状況に応じて加減する。

時を越えた贈り物 200 cc/10a

プロ液肥 5~7 kg/10a

サンネーラ 50 cc/10a

バイオアクト TS 50~70 cc/10a

5~7日毎に灌水する場合

※生育状況に合わせて増減する。

※サンネーラの代わりに、シカアップ[®] 100~150 cc、海藻のエキス 50g、K-40 100g でもよい。

ご注文やお問い合わせは、

有限会社 丸 富 TEL (0942) 65-0123

FAX0942-65-1091 (24 時間受付)

携帯 090-3328-7603 (富松まで)